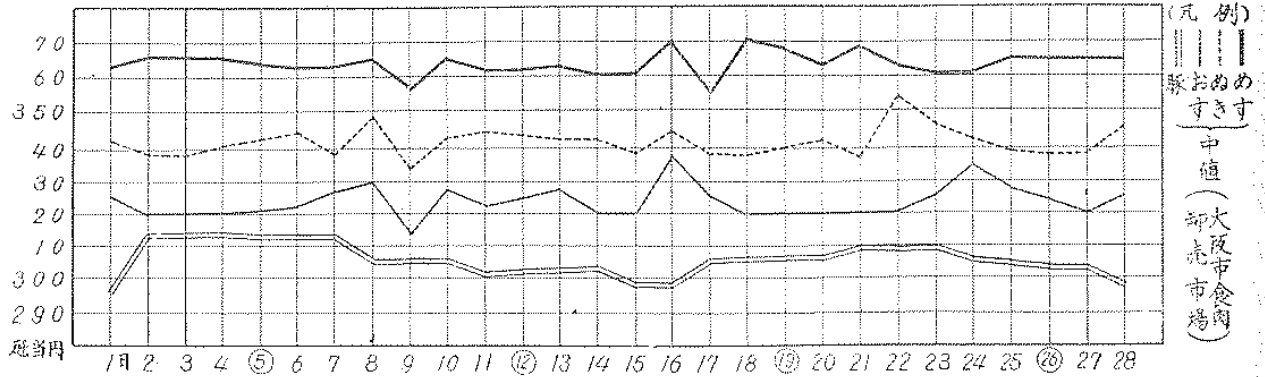


肉 畜 市 況 月 報

(36年 2月)

大阪経済事務所



共 同 出 荷 実 績	団 体 名	頭 数	平均 単価	枝 肉 量 (kg)	売 上 金 額				摘 要
					枝 肉	原 皮	内 ぞう	計	
共 同	県 畜 連	めす 5	350	1,098.6	384,720	352,000	249,020	6,141,240	中央畜産KK
		ぬき 58	357	14,254.3	5,085,180				
		おす 1	333	211.2	70,320				
出	経 済 連	ぬき 1	330	190.0	62,700	5,500	3,040	71,240	〃
		豚 106	297	6,099.5	1,808,780	—	48,795	1,857,575	徳島ハムKK
荷	津川農協	〃 17	302	956.7	288,970	—	7,650	296,620	中央畜産KK
	高陽 〃	〃 57	292	3,632.4	1,062,120	—	29,050	1,091,170	〃
	豊国 〃	〃 13	288	681.5	196,390	—	5,450	201,840	〃
実 績	美 畜 作 協	めす 5	354	1,213.5	430,070	203,500	158,890	4,970,530	大阪畜産KK
		ぬき 32	365	8,717.4	3,178,070				
		豚 107	299	5,949.4	1,784,180				
	高梁畜連	ぬき 2	368	656.0	241,500	11,000	10,490	262,990	〃
土居農協	豚 17	308	967.1	298,330	—	7,730	306,060	〃	

中 平 均 物 価 格 (円当)	36年 2月		35年 2月		と 畜 頭 数 (大阪市と場)	牛	3,561
	めす	363円	ぬき	323円			
	ぬき	341	豚	302		仔牛	519
	おす	320	豚	288		豚	6,993
	豚	305	豚	294		馬	0
						めん羊	5

概 況

出廻りは1月より牛で500頭、豚で400頭の減であったが、末端の消費が芳しくないところから月間を通じ商況に活気なく売行滞えず一時は相当量の滞荷があった程で弱気配の出況であった。

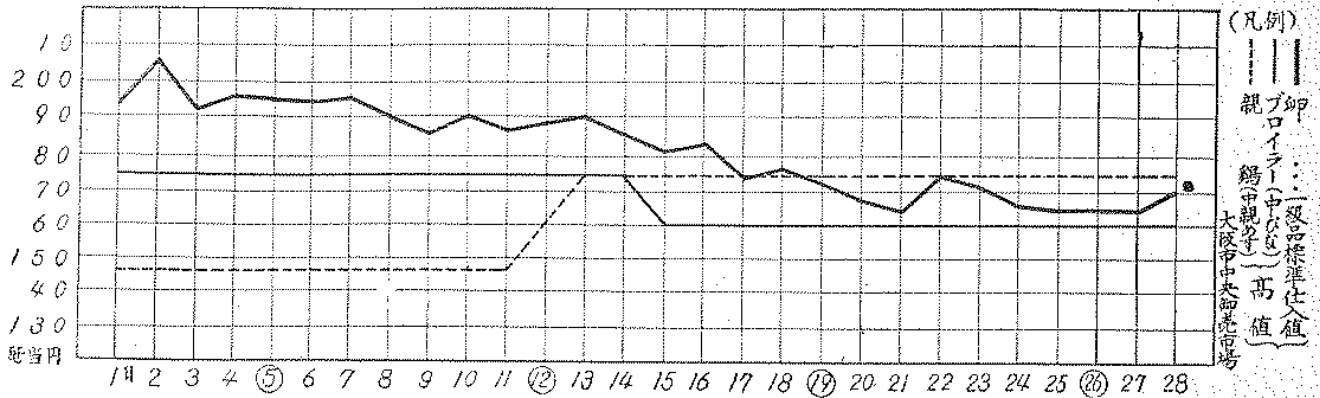
それでも月末には牛はシッカリ商況に転じ、一方

豚は反対にジリ安商況となって円300円を割って3月に入った。

鶏卵食鶏市況月報

(36年2月)

大阪経済事務所



平均価格 (円当)	36年2月		35年2月		阪神地区入荷推定数量	卵			共同出荷実績	卵		
	卵	円	円	卵		産	羽	羽		産	羽	羽
卵	182	187	182	187	岡山	1,120,000	30,000	30,000	経済連	477,000	—	—
プロイラー	167	244	167	244	香川	720,000	40,000	40,000	西大寺	8,800	—	—
親鶏	163	192	163	192	大阪	1,220,000	65,000	70,000	美作	31,000	—	—
					その他	1,250,000	77,000	110,000	養鶏加工連	—	18,000	—
					計	4,310,000	212,000	250,000	計	516,800	18,000	—

概況 市場への出廻りは1月より約8%減であったが末端の消費が振わず、月始め産200円がらみから連日ギリ安商状となって月末には170円がらみで3月に入った。香港へは月間、神戸港より6,500ケース積出され、マヨネーズ用の需要も相当量あるなど好材料もあったが相場には応えなかった。3月は出廻りも増加して来るので、相場は益々弱く中旬以降には150円がらみとみられる。しかしながら一方あまり安い相場となればマヨネーズ需要、香港輸出が活潑となるので、下旬には持直して来るものと思われる。

食鳥市況は出廻りが多いとき若鶏の商状が全く冴えず、月間平均中びなで産167円で、古鶏の相場と変わらないところまで下落した。3月に入っては一層出廻りが多くなって中びなで150円がらみと全く低調な相場をみせている。この結果各産地では、春びなの手当が控えられている模様で、現在相場を底値とみる向が多いが、これから先相当期間弱含みの市況が続くものとみられる。